

No.	760-010	事務事業名	住宅市街地総合整備事業				所属部	建設部
							所属課	区画整理課
政策体系	政策名	0 1	快適で魅力あるまちづくり				課長名	三嶋 辰雄
	施策名	0 1	生活基盤の充実				所属G(係)	業務第1G
	基本事業名	0 2	住宅環境の整備				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 8	0 5	0 2	118030	住宅市街地総合整備事業	特になし	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
本事業は、既成市街地において、快適な居住空間の創出、都市機能の更新、特に密集市街地の整備改善を図るため、浜之市土地区画整理事業との合併施行でおこなわれる公共施設の整備改善を含む総合的な市街地整備を目的とした事業である。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (年度 ~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (H 10 年度 ~ H 27 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)																																							
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 老朽建築物の買収・除却 21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度と同様 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 浜之市地区の老朽住宅 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 良好な宅地として整備される 結果(どんな結果に結び付けるのか) ゆとりある住宅を確保できる		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 都市再生住宅の建設戸数</td> <td>戸</td> </tr> <tr> <td>イ 老朽建築物買収・補償累計戸数</td> <td>戸</td> </tr> <tr> <td>ウ 老朽建築物の除却棟数</td> <td>棟</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">対象指標(対象の大きさを表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 老朽住宅棟数</td> <td>棟</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 老朽住宅の除却棟数/老朽住宅棟数</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア ゆとりある住宅が確保できていると感じる市民の割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		名称	単位	ア 都市再生住宅の建設戸数	戸	イ 老朽建築物買収・補償累計戸数	戸	ウ 老朽建築物の除却棟数	棟	対象指標(対象の大きさを表す指標)		名称	単位	ア 老朽住宅棟数	棟	イ		ウ		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		名称	単位	ア 老朽住宅の除却棟数/老朽住宅棟数	%	イ		ウ		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		名称	単位	ア ゆとりある住宅が確保できていると感じる市民の割合	%	イ		ウ	
名称	単位																																								
ア 都市再生住宅の建設戸数	戸																																								
イ 老朽建築物買収・補償累計戸数	戸																																								
ウ 老朽建築物の除却棟数	棟																																								
対象指標(対象の大きさを表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 老朽住宅棟数	棟																																								
イ																																									
ウ																																									
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 老朽住宅の除却棟数/老朽住宅棟数	%																																								
イ																																									
ウ																																									
上位成果指標(結果の達成度を表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア ゆとりある住宅が確保できていると感じる市民の割合	%																																								
イ																																									
ウ																																									

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円	98,506	97,837	58,951	57,194	
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	6,479	7,343	9,897	8,676	
		その他	千円	83,579	76,320	62,862	69,458	
		一般財源	千円	188,564	181,500	131,710	135,328	
事業費計(A)		千円						
活動指標		ア 戸	27	36	-	-		
		イ 戸	48	52	61	71		
		ウ 棟	77	82	94	104		
対象指標		ア 棟	320	320	320	320		
		イ						
		ウ						
成果指標		ア %	24	26	29	33		
		イ						
		ウ						
上位成果指標		ア %	41	40.4	42	43		
		イ						
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
合併施行中の浜之市土地区画整理事業との連携により事業の進捗がスムーズになるため平成10年度に認可をうけ、11年度から事業実施。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
老朽住宅が密集して建ち並び防災面で危険である。開始から20年度までに94棟の建物を除却済	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
風水害等で影響があると思われる老朽住宅が多いため、事業対象者から早期の除却を望む声が多い	

事務事業名	住宅市街地総合整備事業	所属部	建設部	所属課	区画整理課
-------	-------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	この地区の生活基盤の推進を図り、住環境水準を高めて魅力的な市街地整備をしていく。																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																									

No.	760-040	事務事業名	隼人駅東地区まちづくり協議会支援事業				所属部	建設部
							所属課	区画整理課
政策体系	政策名	0	1	快適で魅力あるまちづくり			課長名	三嶋 辰雄
	施策名	0	1	生活基盤の充実			所属G(係)	業務第3G
	基本事業名	0	2	住宅環境の整備			電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0	8	0	5	0	2	118020 土地区画整理事業(隼人駅東)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
隼人駅東地区まちづくり協議会は、隼人駅東地区土地区画整理事業区域内の土地所有者で構成されており、良好な住宅環境をつくるため、地域住民の方針・方向性を自主的に検討、協議する場として設置した。協議会会員は地域住民の意見を取り入れたまちづくりを検討するとともに、今後の計画について地元への周知・合意形成に努めていく。具体的には、年度毎に協議会を開催し、1年間の事業計画を定め、それに基づき先進地視察や研修等を行い土地区画整理事業に対する知識を深める。また定期的に協議会だよりを発行、配布し、事業の最新の状況の周知を図る。市は協議会の事務局として必要な情報を提供し、行政サイドからのアドバイスをを行い、協働のまちづくりを進めていく。							<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
							<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 18年度～)	
							<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度～ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
協議会開催 先進地研修・視察 協議会だより発行(年1回)		ア	協議会開催回数
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	研修・視察開催回数
前年度と同様		ウ	協議会だより発行回数
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
隼人駅東地区の地権者、地域住民 <補助金交付先> 隼人駅東地区まちづくり協議会会員 <補助対象活動> 団体の運営(協議会、研修及び視察、協議会だより発行)		名称	
		単位	
		ア	会員数
		イ	地権者数
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
地権者、地域住民に土地区画整理事業に対する理解を深めてもらう		名称	
		単位	
		ア	協議会参加割合
		イ	研修・視察参加割合
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
ゆとりある住宅を確保できる		名称	
		単位	
		ア	ゆとりある住宅が確保できていると感じる市民の割合
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円				
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	117	139	134	200	
		事業費計(A)	千円	117	139	134	200	
活動指標	ア	回	2	2	2	3		
	イ	回	1	1	1	1		
	ウ	回	2	2	1	2		
対象指標	ア	人	10	14	13	13		
	イ	人	200	200	200	200		
	ウ							
成果指標	ア	%	60	70	92	70		
	イ	%	50	60	38	70		
	ウ							
上位成果指標	ア	%	41	40.4	69.8	43		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
隼人駅東地区の新しいまちづくりのため互いに協議し、誰もが住みたくなるようなまちづくりを進めることを目的として、平成15年に発足。協議会への支援事業は平成18年より開始。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
本格的な事業実施に向け、地権者、地域住民への活動状況が周知され、様々な意見が聞かれるようになった。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
事業対象者から、今後の具体的な計画について情報開示の要望や、早期着手を望む声が多い。	

事務事業名	隼人駅東地区まちづくり協議会支援事業	所属部	建設部	所属課	区画整理課																				
2 評価の部 (SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																									
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつか? 意図することが結果に結びついているか?																							
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘ なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?																							
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?																							
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?																							
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?																							
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input type="checkbox"/> 連携できない ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↘ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?																							
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)																							
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)																							
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?																							
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																									
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		この地区の生活基盤の推進を図り、住環境水準を高めて魅力的な市街地整備をしていく。																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 研修会や説明会を近隣で開催し、より多くの参加者を獲得するとともに事業に対する理解を深めてもらう。																									

No.	760-050	事務事業名	隼人駅東地区土地区画整理事業				所属部	建設部
							所属課	区画整理課
政策体系	政策名	0 1	快適で魅力あるまちづくり				課長名	三嶋 辰雄
	施策名	0 1	生活基盤の充実				所属G(係)	業務第3G
	基本事業名	0 2	住宅環境の整備				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 8	0 5	0 2	118020	隼人駅東土地区画整理事業	特になし	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 隼人駅東地区は、ミニ開発や共同住宅の建築が行われ、有効な土地利用が出来なくなっているため、周辺の商業、業務機能の強化のため土地区画整理事業により都市基盤施設の整備を行い、人でにぎわう都市空間を形成する。	事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (年度 ~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (H 18 年度 ~ H 34 年度)
---	--

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 実施計画、事業計画作成	⇒ ⇒ ⇒ ⇒	名称 ア 換地設計面積 イ ウ	単位 m ²
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 換地設計作成、実施設計		名称 ア 区画整理対象区域の面積 イ ウ	単位 m ²
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 隼人駅東地区内の区画整理対象区域		名称 ア 良好な宅地として整備された面積 - 整備済み面積(累計) / 区画整理対象区域の面積 イ ウ	単位 %
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 良好な宅地として整備される		名称 ア ゆとりある住宅が確保できていると感じる市民の割合 イ ウ	単位 %
結果(どんな結果に結び付けるのか) ゆとりある住宅を確保できる			

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円	17,000	18,900	6,350	6,600	
		国庫支出金	千円	0	0	0		
		都道府県支出金	千円	0	16,200	0		
		地方債	千円	60,100	0	0		
		その他	千円	28,387	11,324	23,969	117,437	
		一般財源	千円	105,487	46,424	30,319	124,037	
	事業費計(A)	千円						
活動指標	ア	m ²	0	0	0	0		
	イ							
	ウ							
対象指標	ア	m ²	231,000	231,000	231,000	130,000		
	イ							
	ウ							
成果指標	ア	%	0	0	0	0		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア	%	41	40.4	42	43		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
住民より道路、公園、水路等の整備を望む声が多数あり、平成10年度にアンケート調査を行い、区画整理事業を導入し、一体的に整備することになった。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
公共施設が未整備にもかかわらず、ここ最近急激に無秩序な開発が行われており計画的な街路が形成されず虫食い状に宅地化が進んでいる。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
事業の早期着手を望む意見が多いが、一部慎重な住民もいる。	

事務事業名	隼人駅東地区土地区画整理事業	所属部	建設部	所属課	区画整理課																				
2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																									
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつか? 意図することが結果に結びついているか?																							
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘ なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?																							
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?																							
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?																							
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?																							
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できない ↘ <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↘ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?																							
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)																							
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)																							
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?																							
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																									
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		事業を効率的に進め、霧島市の交通業務の中心として位置付けし、駅を中心とした交通体系の機能強化を図っていく。																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)																						
< 改革改善案 >			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																									

No.	760-060	事務事業名	浜之市土地区画整理事業				所属部	建設部
							所属課	区画整理課
政策体系	政策名	0 1	快適で魅力あるまちづくり				課長名	三嶋 辰雄
	施策名	0 1	生活基盤の充実				所属G(係)	業務第1G
	基本事業名	0 2	住宅環境の整備				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0:8	0:5	0:2	118010	浜之市土地区画整理事業	特になし	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
本地区は国道10号沿線、隼人港(通称 浜之市港)を中心に発展してきた既成市街地であるが、地区内の道路は狭く緊急車両の進入が困難であり、また隼人港付近については宅地規模の小さい過密住宅地(要移転戸数340戸)であり、現在は公園などはない状態にある。このため都市計画道路・区画街路等整備や公園等の整備と合わせ、土地利用の増進及び、安全で快適な住宅地の供給を図り、既成市街地の再生と地域の発展を目的とした区画整理事業を行う。						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (年度 ~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (H 2 年度 ~ H 27 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
区画街路の築造、宅地の整地、建物等移転補償		ア	街路築造工事延長
			m
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	宅地の整地面積
前年度と同様			m ²
		ウ	建物等移転補償累計戸数
			戸
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
浜之市地区内の区画整理対象区域		名称	
		単位	
		ア	区画整理対象区域の面積
			m ²
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
良好な宅地として整備される		名称	
良好な宅地とは、土地の区画が整っている、設道する、緊急車両が通れる道路が確保される、公園が確保される、排水対策ができています		単位	
		ア	良好な宅地として整備された面積 = 整備済み面積(累計) / 区画整理対象区域の面積
			%
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
ゆとりある住宅を確保できる		名称	
		単位	
		ア	ゆとりある住宅が確保できていると感じる市民の割合
			%

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円	205,405	217,750	189,590	180,000	
		国庫支出金	千円	6,922	6,961	6,377	6,051	
		都道府県支出金	千円	336,300	289,900	272,900	287,400	
		地方債	千円	27,419	11,188	11,107	10,639	
		その他	千円	115,524	139,770	152,687	112,510	
		一般財源	千円	691,570	665,569	632,661	596,600	
		事業費計(A)	千円					
活動指標		ア	m	212.8	150.0	79	500	
		イ	m ²	30,304	36,778	43,484	46,778	
		ウ	戸	570	608	661	688	
対象指標		ア	m ²	186,654	186,654	186,654	186,654	
		イ						
		ウ						
成果指標		ア	%	16.2	19.7	23.2	24.9	
		イ						
		ウ						
上位成果指標		ア	%	41	40.4	42	43	
		イ						
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
平成元年に浜之市地区の住民から区画整理事業の要望があり、平成2年度にまちづくり基本調査を、平成3年度に区画整理事業調査を行い、平成5年2月に事業推進協議会が設立され、事業実施に向け動き出した経緯がある。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
事業の開始時期は、反対運動等もあったが平成13年から移転補償も始まり、最近では早期完成を望む声が多くなっている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
区画整理区域内の事業対象者より、風水害等で影響があると思われる老朽住宅が多いため早期の事業完成を望む声が多く聞かれる。	

事務事業名	浜之市土地区画整理事業	所属部	建設部	所属課	区画整理課
-------	-------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	見直し余地がある【理由】 ↷	結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	
	公共関与の妥当性	見直し余地がある【理由】 ↷	妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	
	対象・意図の妥当性	見直し余地がある【理由】 ↷	適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	成果の向上余地	向上余地がある【理由】 ↷	向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	
	廃止・休止の成果への影響	影響無【理由】 ↷	影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	他 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷	統廃合できる ↷	連携できる ↷	統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	削減余地がある【理由】 ↷	削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	削減余地がある【理由】 ↷	削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか?(アウトソーシングなど)	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	見直し余地がある【理由】 ↷	公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																									
目的妥当性	適切	見直し余地あり	この地区の生活基盤の推進を図り、住環境水準を高めて魅力的な市街地整備をしていく。																								
有効性	適切	見直し余地あり																									
効率性	適切	見直し余地あり																									
公平性	適切	見直し余地あり																									
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																								
廃止 休止	<input type="checkbox"/>	事業のやり方改善(有効性改善)	現状維持	<input type="checkbox"/>	<table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																									
		削減	維持	増加																							
成果	向上																										
	維持																										
	低下																										
目的再設定	<input type="checkbox"/>	事業のやり方改善(効率性改善)	(従来通りで特に改革改善をしない)																								
事業統廃合・	<input type="checkbox"/> 携	事業のやり方改善(公平性改善)																									
<改革改善案>																											
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																											

No.	760-070	事務事業名	麓第一土地区画整理事業	所属部	建設部
政策体系	政策名	0 1	快適で魅力あるまちづくり	所属課	区画整理課
	施策名	0 1	生活基盤の充実	課長名	三嶋 辰雄
	基本事業名	0 2	住宅環境の整備	所属G(係)	業務第2G
				電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令	特になし
	一般	0 8	0 5	0 2	118015	土地区画整理費	根拠	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
<p>麓第一地区を対象に空港前の住宅地として、健全な市街地(42.5ヘクタール)の形成を図る土地区画整理事業。事業期間は平成5年から平成25年度で、排水が確保されかつ地権者の了承が得られた区域から整備を行ってきている。</p> <p>現在は、受益者から減歩として提供された保留地(宅地)の販売も行っている。</p> <p>保留地の全体面積は、29,630㎡</p> <p>20年度末の造成面積は、16,316.37㎡で全体面積の55.07%</p> <p>20年度末の販売面積は、11,277.65㎡で造成面積の69.12%全体面積の38.06%</p> <p>販売方法は、空港及び周辺の企業に勤める従業員の方への営業活動・霧島市広報誌への掲載・インターネットによるホームページでの紹介・鹿児島県宅地建物取引業協会の媒介などを行っている。</p> <p>空港に近く、幼稚園、小・中学校、病院、駐在所、高速インターなどの公共施設の整った宅地としてPR。1区画が標準で85坪(570万円程度)</p>		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H 5 年度 ~ H 25 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
保留地の造成工事		ア	区画整理済み面積(累計)
保留地の販売		イ	保留地の宅地造成面積
道路の造成、宅地の整地、建物の移転補償		ウ	保留地の販売面積
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
20年度と同様		名称	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		単位	
麓第一地区		ア	麓第一地区の区画整理対象地区の面積
<現段階の対象>		イ	麓第一地区の保留地の面積
麓第一地区の保留地		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
良好な宅地として整備される		名称	
<現段階の意図>		単位	
住宅地として販売できる		ア	区画整理済み面積(累計) / 麓第一地区の区画整理対象地区の面積
結果(どんな結果に結び付けるのか)		イ	保留地販売済み面積 / 麓第一地区の保留地の面積
ゆとりある住宅を確保できる		ウ	購入者の評価点
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア	ゆとりある住宅が確保できていると感じる市民の割合
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	90,788	55,000	55,000	55,000		
		都道府県支出金	千円	0	0	0			
		地方債	千円	57,100	132,700	132,700	132,700		
		その他	千円	6,362	32,342	41,847	15,000		
		一般財源	千円	165,300	17,292	22,273	67,187		
		事業費計(A)	千円	319,550	237,334	251,820	269,887		
活動指標	ア	㎡	302,375	313,420	323,955	335,750			
		㎡	14,848	1,468	0	757			
		㎡	7,966	1,400	1,911	1,000			
		対象指標	ア	㎡	424,804	424,804	424,804	424,804	
			イ	㎡	29,630	29,630	29,630	29,630	
			ウ						
成果指標	ア	%	71	74	76	79			
	イ	%	27	32	38	41			
	ウ	点							
上位成果指標	ア	%	41	40.4	42	43			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
事業は、平成5年より着工しているが、平成13年3月から保留地の一部造成地が完成し、宅地として販売することとなった。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
保留地販売価格は平成19年8月に変更した。立地条件が良いため土地価格は区域外より若干高めの設定となっている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
事業対象者より、保留地価格は民間の販売実績価格と開きが小さくなった。との意見が寄せられていた。	

事務事業名	麓第一土地区画整理事業	所属部	建設部	所属課	区画整理課																					
2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																										
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつかずか? 意図することが結果に結びついているか?																						
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?																						
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?																						
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?																						
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?																						
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 連携できない ↷																				
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)																						
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)																						
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?																						
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																										
(1) 1次評価者としての評価結果			(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			保留地の全体面積のうち55%が造成済みであるが、今後の分については消費者のニーズに合う造成計画を推進していく。																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 保留地の価格について、個人売買との格差が課題となっている。 販売しやすい価格にすることが解決策となる。																										